

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公開番号】特開2007-44103(P2007-44103A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-229033(P2005-229033)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/02 3 1 0 R

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月20日(2007.6.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開放端を有する中空頭部に、前記開放端の周縁から延出する鍔を設けた略ハット形の本体を備え、前記中空頭部の開放端が創傷に重ね合わせられ、前記鍔に、前記創傷の周囲に粘着する粘着面が形成され、前記鍔が複数に分割するよう切込まれたことを特徴とする創傷プロテクタ。

【請求項2】

前記中空頭部に空気を導入する通気孔を設けたことを特徴とする請求項1に記載の創傷プロテクタ。

【請求項3】

前記通気孔を通気性フィルムで塞いだことを特徴とする請求項2に記載の創傷プロテクタ。

【請求項4】

前記中空頭部が通気性フィルムから成ることを特徴とする請求項1に記載の創傷プロテクタ。

【請求項5】

創傷を被覆する創傷プロテクタであって、前記創傷に重ね合され前記創傷に間隙を隔てる凹面を有する被覆部と、該被覆部から延出し前記創傷の周囲に貼付けられる皮接部とを一体に接合し、前記被覆部にその内側を開閉できる蓋体を設けたことを特徴とする創傷プロテクタ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る創傷プロテクタは、開放端を有する中空頭部に、前記開放端の周縁から延出する鍔を設けた略ハット形の本体を備え、前記中空頭部の開放端が創傷に重ね合わせられ、前記鍔に、前記創傷の周囲に粘着する粘着面が形成され、前記鍔が複数に分割するよう切込まれたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

更に、本発明に係る創傷プロテクタは、前記中空頭部に空気を導入する通気孔を設けたことを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

更に、本発明に係る創傷プロテクタは、前記通気孔を通気性フィルムで塞いだことを特徴とする。或いは、前記中空頭部が通気性フィルムから成ることを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、創傷を被覆する創傷プロテクタに係るものであって、前記創傷に重ね合され前記創傷に間隙を隔てる凹面を有する被覆部と、該被覆部から延出し前記創傷の周囲に貼付けられる皮接部とを一体に接合し、前記被覆部にその内側を開閉できる蓋体を設けたことを特徴とする。